

2023 年度事業計画

1. 庶務関連の事業

- (1) 代議員総会を 6 月 4 日（日）に開催する。
 - i) 2022 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
 - ii) その他
- (2) 2023 年度大会を 9 月 9 日(土)10 日(日)県立広島大学にて開催する。
 - i) 研究発表
 - ii) 事業報告会及び学会賞授与式
 - iii) 公開シンポジウム
 - iv) 懇親会
 - v) その他
- (3) 研究の奨励及び研究業績等の表彰
 - i) 学会賞、奨励賞、功労賞の授与
 - ii) 若手研究者発表奨励賞の授与
- (4) 会議の開催
理事会、編集委員会、情報管理委員会、学会賞選考委員会、規程委員会、刊行委員会
- (5) 講演会を 6 月 4 日(日)に開催する。
- (6) 選挙管理委員会を立ち上げ、2024-2025 年度の代議員選出、理事候補者・会長候補者・副会長候補者・監事候補者の選出を行う。

2. 企画・広報関連の事業

- (1) 年次大会を中心とする企画・広報活動を行う。
- (2) 講演会の企画・広報活動を行う。
- (3) 創立 50 周年記念出版の広報活動を継続して行う。
- (4) 「調理科学の百科事典」出版に向け編纂作業を行う。

3. 編集委員会関連の事業

- (1) 編集委員会を開催し、日本調理科学会誌第 56 巻第 2 号～6 号及び第 57 巻第 1 号の編集及び発行を行う。発行部数は A4 判 各 1,600 部とする。
- (2) 「日本調理科学会誌」は刊行後 1 か月以内に WEB 上(J-STAGE)で公開する。

4. 情報管理委員会関連の事業

- (1) 事務局と協力しホームページの管理、運用を行う。
- (2) ホームページのリニューアルに向け検討する。
- (3) 2023 年度大会演題登録はアトラス社の Confit を利用して行う。
研究発表要旨を J-STAGE にて公開する。
- (4) メール・ニュースを発行する。
- (5) 転載申請に対し許諾の判断を行う。場合により学術著作権協会への申請を依頼する。

5. 規程委員会

諸規程を整備する。

6. 刊行委員会

- (1) 引き続き創立 40 周年記念事業「クックリーサイエンス」シリーズの刊行をする。
- (2) 「料理のなんでも小事典」が重刷されるよう努める。

7. 研究委員会関連の事業

- (1) 「災害時のメニュー開発に関する研究委員会」は研究活動を行う。
- (2) 特別研究「多様な調理法と家庭料理の伝承」研究委員会は研究活動を行う。

8. 渉外関連の事業

- (1) 日本学術会議協力学術団体として生活科学系コンソーシアムの活動を行う。
- (2) 次の学協会等との事業の共催、協賛及び学会誌の交換及び情報の交換等を行う。
(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団、(一社)日本家政学会、(公社)日本栄養食糧学会、(公社)日本食品科学工学会、(公社)日本水産学会、NPO 法人日本栄養改善学会、(一社)日本応用糖質学会、日本家庭科教育学会、日本食生活学会、(一社)日本官能評価学会、日本熱物性学会、日本高圧力学会、(一社)和食文化国民会議、(公財)塩事業センター、(公財)不二たん白質研究振興財団、(一社)日本レオロジー学会、NPO 法人うま味インフォメーションセンター、日本食品・機械研究会、日本熱測定学会、(公社)日本冷凍空調学会、(公財)ソルト・サイエンス研究財団、その他の学協会

9. 支部活動に関する事業

各 6 支部は、支部総会、役員会、講演会、研究会等の事業を行う。